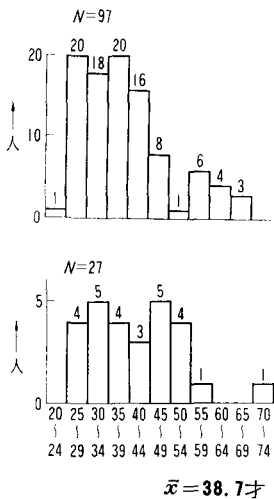


〈正会員の年齢分布〉

昨年は日本にとって年齢分布で一大転換期であったという。すなわち、戦前生まれと戦後生まれの比率が入れ変わった年であった。このことは、昨年は今後の日本が徐々に大きく変化してゆく変曲点にあたっていたともいえる。

ところで、わが日本OR学会会員数と都道府県人口との関係を、年齢別に眺めてみたら、つぎのようにいろいろおもしろいことがわかった。



企 業	その他	
0.85	0.78	青 森
0.91	0.86	岩 手
0.87	0.85	秋 田
0.91	0.85	山 形
0.88	0.84	福 島
0.89	0.83	東 京
0.71	0.49	鳥 取
0.88	0.84	島 根
0.86	0.89	鹿 児 島
0.94	0.78	沖 縄
0.90	0.83	熊 本
0.89	0.81	大 分
0.91	0.84	宮 崎

(○印は最大値)

図 2 正会員と都県の関係

この調査は、正会員約1,800名の中から、10人に1人の割合でランダムサンプリングを行なって年齢別人数を調べたもので、これを企業とその他にわけてヒストグラムであらわすと、図1の企業($\bar{x}=38.7$ 才)、およびその他正会員($\bar{x}=41.6$ 才)のように、どちらも25才以上についてみると、分布の形は日本の縮図ともいえる形をしている。ただし、20~24才の割合は非常に少ない。

そして、20才以上の10才間隔(20, 30, ..., 70代)の年齢分布について、正会員と都道府県の年齢分布との関係を相関係数であらわすと図2のようになり、この数値でみると、企業正会員は沖縄県($r=0.94$)の年齢分布ともっとも近く、また、その他正会員は鹿児島県($r=0.89$)と似ていることがわかる。

ちなみに、20才以上の年齢分布について、47都道府県の中ではいろんな点で似ている県があちこちにあるが、中でもよく似ているのは島根と鳥取($r=0.985$)、そしてもっとよく似ているのは、山形と秋田($r=0.995$)である。参考までに東京と島根($r=0.676$)は小さな r の値になっていることがわかる。 r の計算にはすべてブッシュンを使ったが、相関係数 r もすぐ出せるようになるといういろに便して便利である。(電電公社 江副 力)

島根	山形	東京
0.985	0.995	0.676
鳥取	秋田	島根

図 3 年齢別人口分布で見た似ている県

編集後記 ▼1月号の新春放談おもしろかったという声をいくつか聞きました。腰塚氏の積分幾何も好評の中に終えました。いろいろな記事に関する感想やら誰と誰との対談を希望するとか、こういう解説があるとよいなどのご意見をどしどしお寄せください。▼1月末から

2月にかけての2週間、松田・伊理両先生とわが編集長が中国科学院に招待され友好訪問に出かけられます。いづれ興味深いお話が伺えるものと一同楽しみにしています。厳寒の折、頭から風邪など召されぬよう、また大陸ボケ(?)などされぬよう。(M2)

オペレーションズ・リサーチ

昭和52年2月号 第22巻 (新シリーズ第2巻) 2号 通巻194号

代 表 者 北 川 一 栄

発 行 所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2)

編 集 人 森 村 英 典

発 売 所 株式会社 日科技連出版社

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2

本誌の直接ご注文は

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 600円(郵送料含) 年間予約購読料 6,600円(郵送料含)

本誌への広告お申し込みは日経弘報社(563-2241)、明報社(571-2548)へ